

通勤通学者についての自主調査

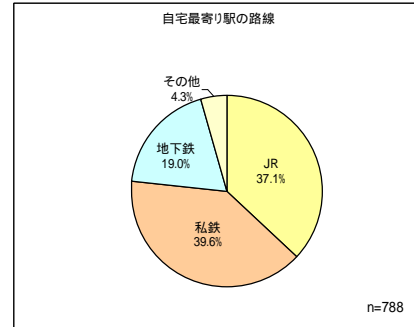
ネットエイジア株式会社は、15歳から49歳の東京都在住男女を対象に、通勤通学についてのモバイル調査を行いました。

通勤通学者が、どこに住んでいるのか、どの路線を利用しているのか、毎日利用する電車の中で何をしているのか、どんな広告に反応するのかなどを、男女別通勤通学者別に比較調査しました。

1. 通勤通学者の居住環境

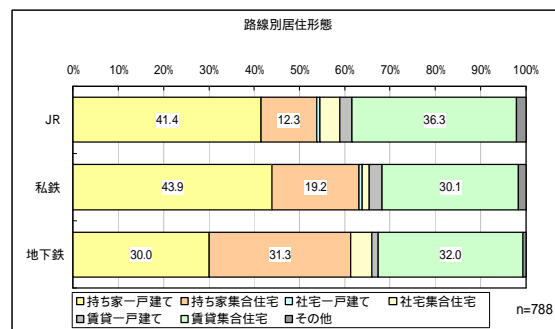
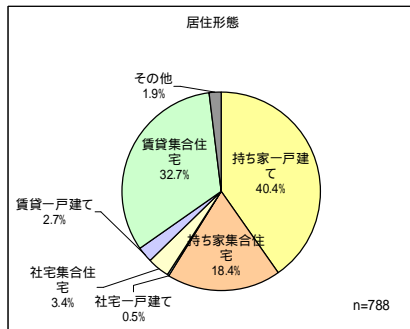
自宅の最寄りの路線はJRが37.1%、私鉄が39.6%、地下鉄が19.0%。

Q.ご自宅の最寄り駅の路線をお教えてください。



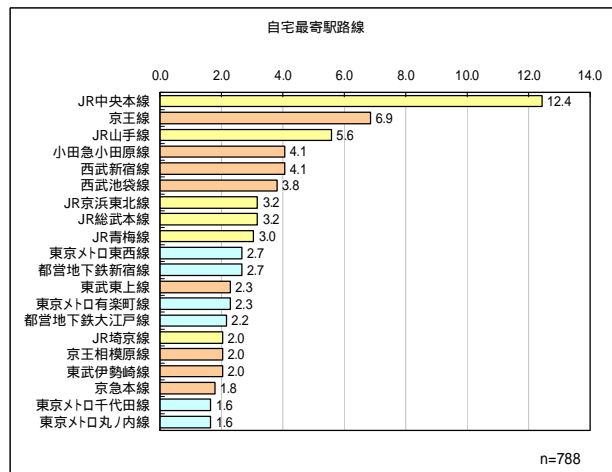
居住形態は、持ち家一戸建てが40.4%、賃貸集合住宅が32.7%、持ち家集合住宅が18.4%。路線別に見ると、地下鉄沿線では持ち家一戸建て比率が低く、持ち家集合住宅の比率が高い。

Q.あなたのお住まいの居住形態をお教えてください。



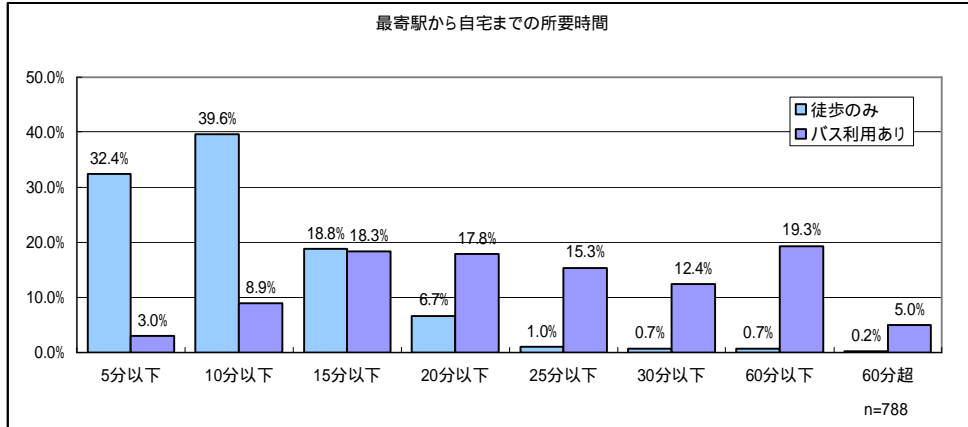
自宅最寄り駅の路線のトップはJR中央本線の12.4%。次いで京王線、JR山手線、小田急小田原線と続く。トップ10の上位には郊外私鉄が多い。

Q.ご自宅の最寄り駅に通っているJR / 私鉄 / 地下鉄の路線名をお教えてください。



最寄り駅から自宅までの時間は、徒歩のみでは5分超10分以下が39.6%と最も多く、7割以上が最寄り駅から10分以内の場所に居住している。徒歩のみの平均所要時間は約10分だった。
 バス利用者の所要時間は、10分超25分以下で分布が多い。75%が最寄り駅から30分以内の場所に居住している。平均所要時間は26分だった。
 徒歩のみとバス利用者全体での平均所要時間は14分だった。

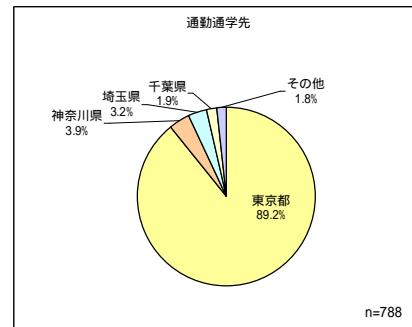
Q.ご自宅から最寄り駅までの所要時間をご記入ください。



2. 通勤通学者の利用路線

全体の約9割が都内から都内に通勤通学をしている。

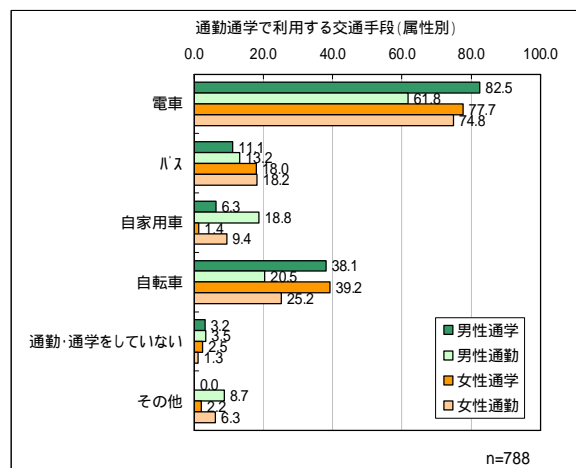
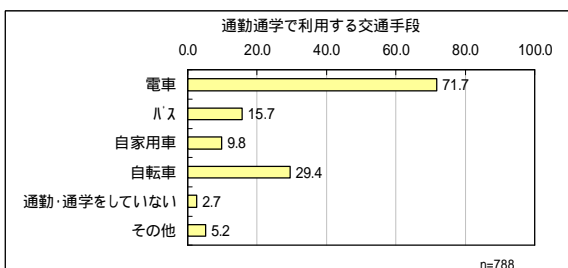
Q.あなたのご自宅と勤務先の都道府県をお知らせください。



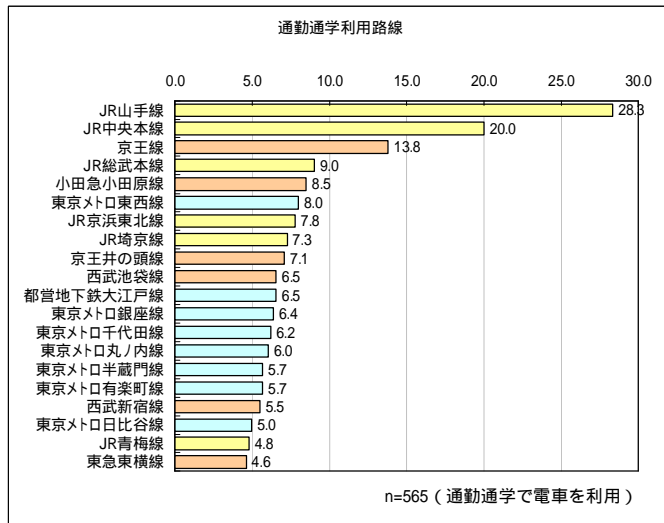
通勤通学で利用する交通手段は、71.7%が電車を利用している。次いで自転車29.4%、バス15.7%と続く。

属性別に見ると、男性通勤者では電車利用率が低く、自家用車利用率が高い。男女通学では、自転車利用が通勤の2倍近く利用されている。

Q.あなたが通勤・通学に利用している交通手段を全てお選び下さい。

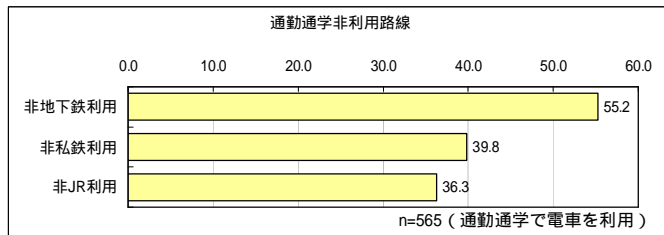


通勤通学の利用路線の1位はJR山手線の28.3%。次いで中央本線、京王線、JR総武本線、小田急小田原線が続く。上位20路線の中に、地下鉄が8路線含まれる。



通勤通学で路線の非利用度を調べたところ、

通勤通学で地下鉄を利用していない人の割合は55.2%、私鉄を利用していない割合は39.8%、JRを利用していない人の割合は38.3%だった。

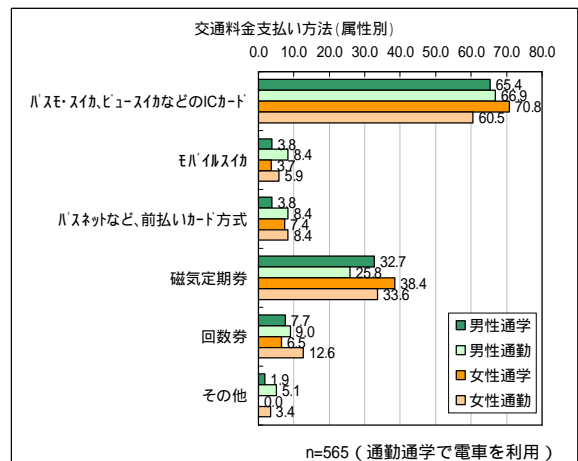
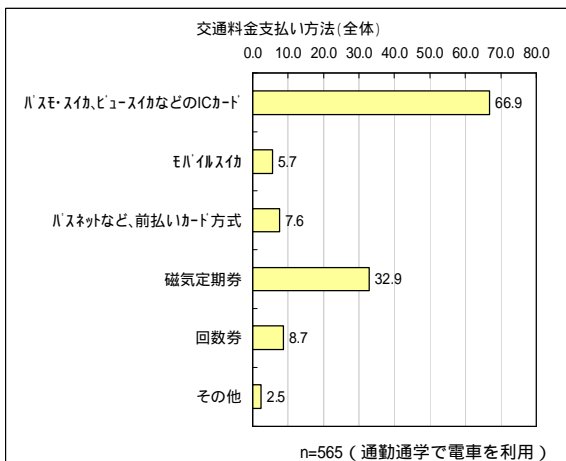


3. 通勤通学者の交通料金の決済方法

交通料金の決済方法は、約7割が「パスモ・スイカ、ビュースイカなどのICカード」を利用している。「磁気定期」の利用は32.9%。

属性別の特徴を見ると、新しい支払い方法である「モバイルスイカ」は男性通勤者の利用率が高く、旧来の支払い方法の「磁気定期券」は女性の利用率が高い。

Q. あなたが通勤・通学で普段利用している交通料金の支払い方法を全てお選びください。

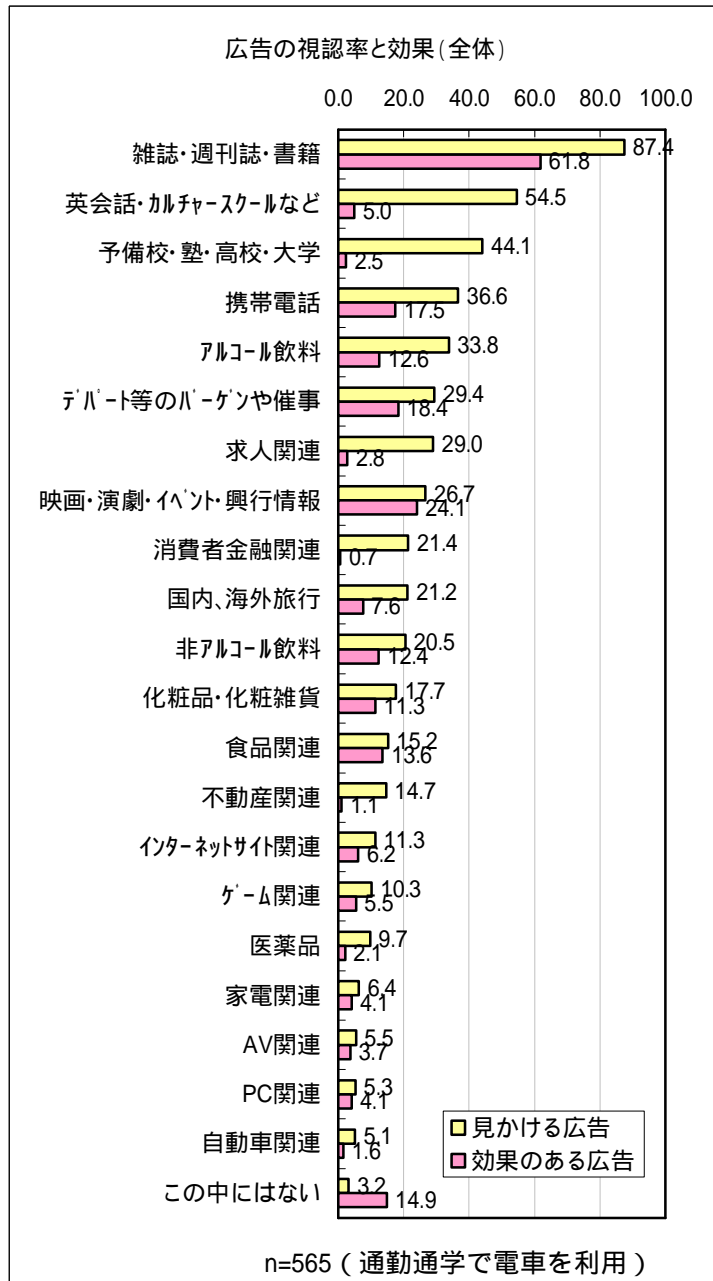


4. 通勤通学者の広告への反応

『よく見かける広告』の1位は「雑誌・週刊誌・書籍」の87.4%。
 2位以下は「英会話・加チャスクールなど」「予備校・塾・高校・大学」が続く。
 一方『購入したくなったり興味がわく広告』の1位は「雑誌・週刊誌・書籍」の61.8%。
 2位以下は「映画・演劇・イベント・興行情報」「デパート等のバーゲンや催事」「携帯電話」「食品関連」が続き、視認率の順位と異なっている。
 「英会話・加チャスクールなど」「予備校・塾・高校・大学」「求人関連」「消費者金融関連」「不動産関連」広告は目にすることが多いが、反応率は低い。

Q.あなたが普段、電車内でよく見かける広告のジャンルを全てお選びください。

Q.電車内の広告で、興味を持ったたり購入したくなる広告のジャンルを全てお選びください。

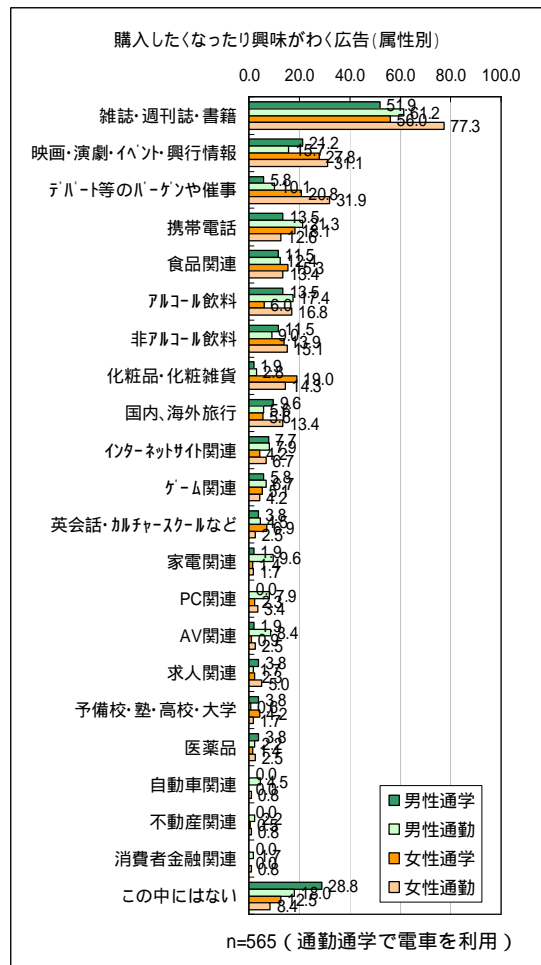
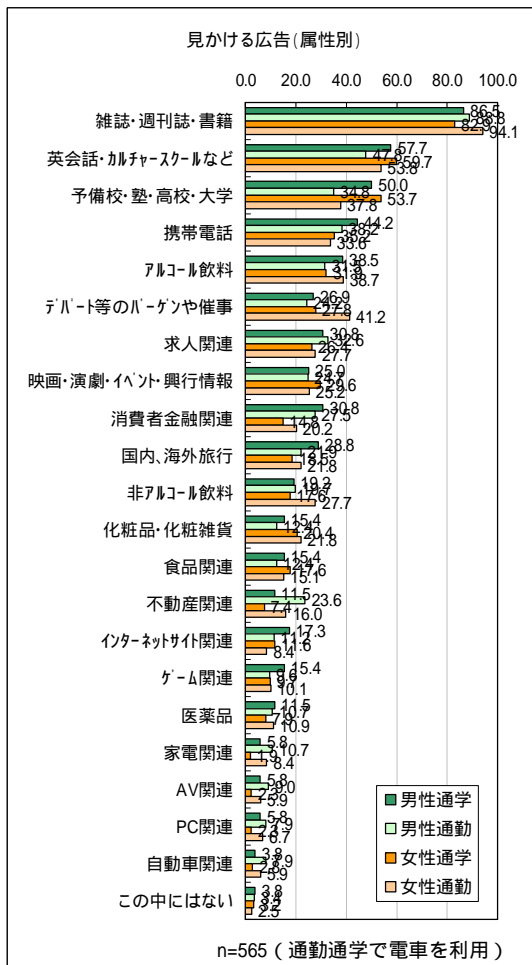


属性別の特徴を見ると、

- 「雑誌・週刊誌・書籍」は属性によらず視認率、興味とも高い。
- 「デパート等のバーゲンや催事」「化粧品・化粧雑貨」の広告は、女性の反応が高い。
- 「携帯電話」広告は、男性通勤者の反応が他の属性に比べて高い。
- 「国内、海外旅行」広告は、女性通勤者の反応が他の属性に比べて高い。
- 「家電製品」「AV 関連」「PC 関連」などの電化製品関連の広告は、男性通勤者の反応が他の属性に比べて高い。

Q.あなたが普段、電車内でよく見かける広告のジャンルを全てお選びください。

Q.電車内の広告で、興味を持ったり購入したくなる広告のジャンルを全てお選びください。



5. 通勤通学者の電車内での過ごし方

交通機関内での過ごし方の1位は「携帯でメール」57.9%。次いで「寝る」「音楽を聴く」「携帯でインターネット」「読書」が続く。

属性別の特徴を見ると、

男性通学者の過ごし方の上位は、「音楽を聴く」「寝る」「携帯でメール」。

男性通勤者の過ごし方の上位は、「寝る」「携帯でメール」「携帯でインターネット」。

女性通学者の過ごし方の上位は、「携帯でメール」「音楽を聴く」「寝る」。

女性通勤者の過ごし方の上位は、「携帯でメール」「寝る」「音楽を聴く」。

「音楽を聴く」は男女通学者で60%以上が行っている。

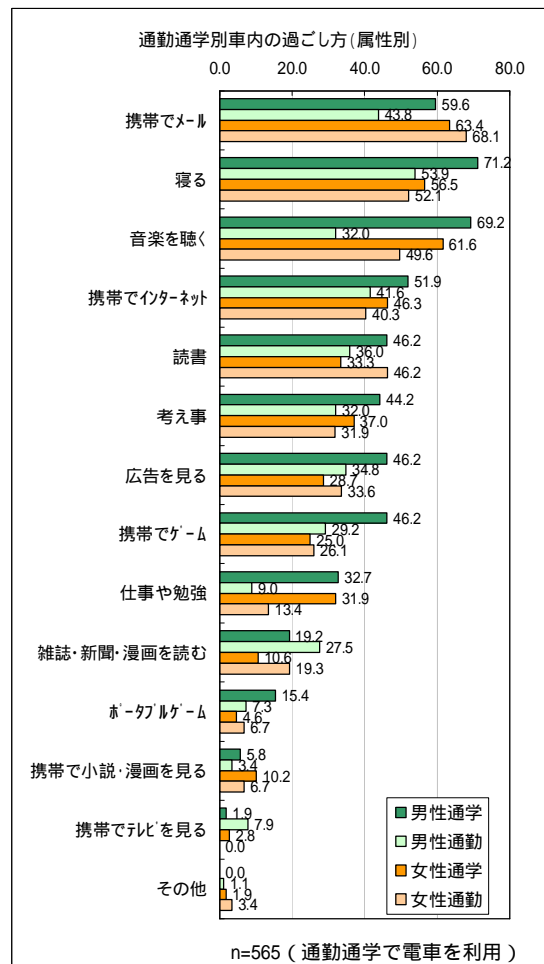
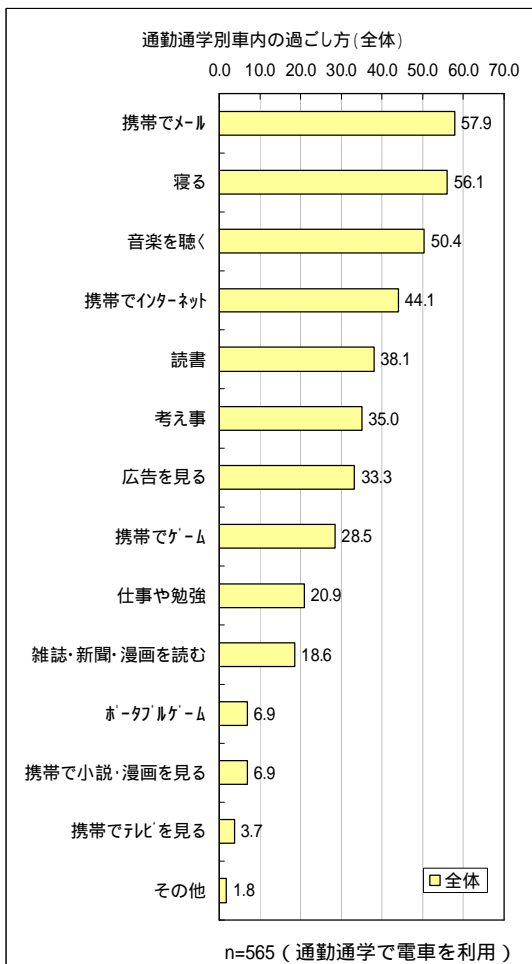
「携帯でインターネット」と「仕事や勉強」も男女通学者で高い。

「携帯でゲーム」と「広告を見る」は男性通学者で高い。

「雑誌・新聞・漫画を読む」と「携帯でテレビを見る」は、男性通勤者で高かった。

「雑誌・新聞・漫画を読む」は女子通学者で低いが、「携帯で小説・漫画を見る」は、女性通学者の利用が高い。

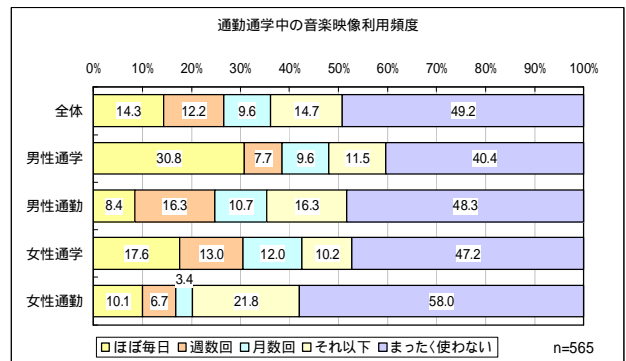
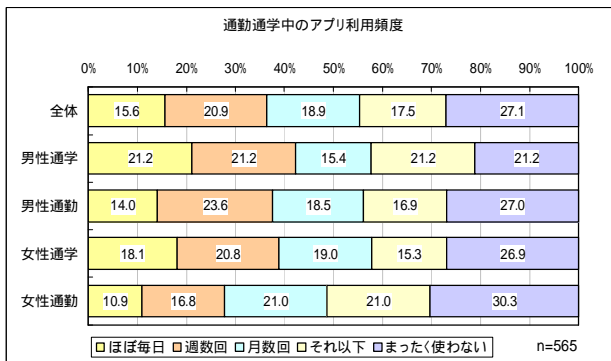
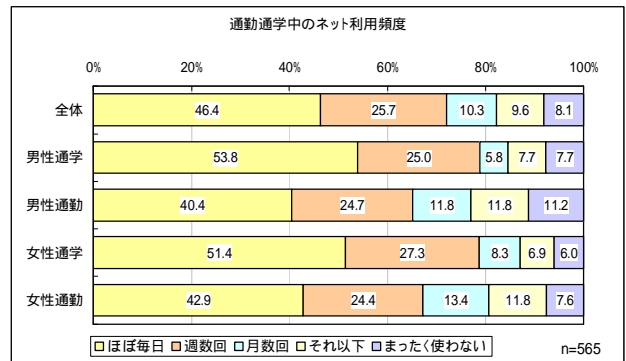
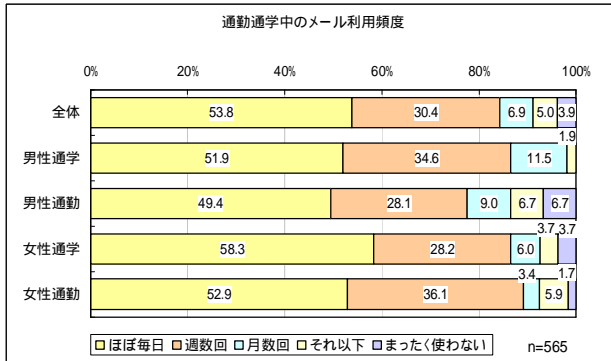
Q. あなたは普段、通勤・通学中に電車や駅構内で何をしていますか。



6. 通勤通学者の電車内での携帯利用

交通機関内での携帯利用頻度を調べたところ、
 携帯メールを「ほぼ毎日利用する」のは全体の53.8%。
 どの属性でも5割程度がほぼ毎日利用している。
 携帯インターネットを「ほぼ毎日利用する」のは全体の46.4%。
 属性別では男女通学者の利用率が高い。
 携帯アプリを「ほぼ毎日利用する」のは全体の15.8%。半数以上は「月数回以上利用」している。
 属性別では男女通学者の利用率が高い。
 携帯音楽映像を「ほぼ毎日利用する」のは全体の14.3%。半数近くは「まったく使わない」。
 属性別では男女通学者の利用率が高く、特に男性通学者の「ほぼ毎日利用する」割合は3割を超えている。

Q.あなたは普段、通勤・通学中の電車の中で、携帯電話を使って、以下のことをしますか。



7. 調査概要

調査期間：2007年5月24日～29日
 調査対象：東京都在住/女性/15～49歳
 サンプル数：788サンプル
 調査方法：モバイルリサーチ
 実施機関：ネットエイジア株式会社

8. サンプル構成

